

二ヶ領用水は1611年(慶長16年)に江戸近在の新田開発を目的に、東京側の六郷用水とともに14年の歳月をかけて開削された農業用水のひとつで、多摩川の上河原堰と宿河原堰から取水され、明治初期まで江戸湾までの川崎市のほぼ全域を流れていました。その中でも宿河原

線は、ウォーキングや市内の史跡巡りコースとして、また地元小学校の環境学習の場として活用されています。桜の名所でもある沿川は、春には「桜まつり」、夏は「灯籠流し」等のイベントも行われる一方、魚の放流や桜の害虫駆除、桜木のこも巻きや撤去、クリーン作戦等に地元町会や市民団体が参画し、地域の活性化、まちづくり推進の拠点になっています。

川崎市全域を流れていたというこのような歴史性を保ちつつ、うるおいのある環境を創出するための取り組みを、これからも川崎市と手を携えて進めていきたいと、地域住民で組織する活動団体では考えています。



二ヶ領用水(宿河原線)



地元町内会等によるクリーン作戦



桜まつり

- ①神奈川県川崎市多摩区宿河原
- ②JR南武線 宿河原駅から徒歩約2分
- ③二ヶ領せせらぎ館、かわさき水辺の楽校舎、狛江水辺の楽校、川崎市緑化センター
- ④4月 桜まつり 8月 灯籠流し
- ⑤地元団体：魚等の放流、桜の害虫駆除、桜木こも巻き・こも巻き撤去、クリーン作戦
- ⑥川崎市 建設局 土木建設部 河川課
電話番号 044-200-2904

